

作成日 1995年 7月 1日

改訂日 2009年 10月 1日

# 製品安全データシート


## 1. 製品及び会社情報

製品名 : **メタクリル酸**  
会社名 : 株式会社 クラレ  
住所 : 〒100-8115 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル  
担当部門 : メタクリル事業部 シート・化成品販売部  
化成品販売課  
電話番号 : 03-6701-1523 FAX 番号 03-6701-1577  
緊急連絡先 : 担当部門と同じ  
整理番号 : C21-001

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	区分4
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
人健康有害性	急性毒性 (経口)	区分4
	急性毒性 (経皮)	区分3
	急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 粉塵)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: ミスト)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分1A
	目に対する重篤な損傷・刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない

	皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発癌性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分外 分類できない 分類できない 分類できない 区分3 (気道刺激性)
	特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分1 (神経系、肝臓、腎臓、副腎)、 区分2 (呼吸器)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境有害性	水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	区分3 区分外
ラベル要素 絵表示又はシンボル		
注意喚起語 危険有害性情報	危険 可燃性液体 飲み込むと有害（経口） 皮膚に接触すると有害（経皮） 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 重篤な眼の損傷 呼吸器への刺激のおそれ 長期または反復ばく露による神経系、肝臓、腎臓、副腎の障害、 長期又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ 水生生物に有害	
注意書き	<b>【安全対策】</b> この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 炎及び高温のものから遠ざけること。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 ミスト、蒸気、スプレーを吸引しないこと。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。	
	<b>【救急処置】</b> 火災の場合には適切な消火方法をとること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢 で休息させ、医師の診断、手当てを受けること。 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。直ちに医師の診断、手当て を受けること。 眼に入った場合、直ちに多量の水で15分間以上洗眼し、直ち に眼科医の診断、手当てを受けること。コンタクトレンズを容 易に外せる場合には外して洗うこと。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。	

衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。

汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】 容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。本製品は 15℃で凍結するため、16℃以上 30℃以下で保管することが望ましい。

【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 単一の化学物質  
化学名： メタクリル酸  
一般名： メタクリル酸、MAA  
別名： Methacrylic Acid  
化学特性：



官報公示整理番号： 化審法及び安衛法 (2)-1025、  
CAS NO. : 79-41-4  
TSCA 有り、 EINECS No.201-204-4、  
成分及び含有量： 99.0% 以上

### 4. 応急措置

吸入した場合： 直ちに空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚（又は毛髪）に付着した場合： 直ちに汚染された衣服や靴を脱ぎ、接触部を多量の水、石鹼で十分に洗い、医師の診断、手当てを受ける。できるだけ早く洗浄を始め、付着した液を完全に洗い流す。洗浄が始めるのが遅れたり、不十分だと皮膚の障害を生ずる恐れがある。

衣類に付着した場合： 直ちにすべての汚染された衣類を脱いで取り除く。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯する。

目に入った場合： 直ちに多量の水で 15 分間以上洗眼し、直ちに眼科医の診断、手当てを受ける。できるだけ早く洗浄を始め、入った液を完全に洗い流す。洗浄が始めるのが遅れたり不十分だと目の障害を生ずる恐れがある。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗う。

飲み込んだ場合： 腐食性の製品なので、嘔吐させるとかえって危険が増す。直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中を洗ったり、コップ 1~2 杯の水又は牛乳を与えて胃内で薄めてもよい。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはいけない。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 化学粉末、炭酸ガス、乾燥砂、アルコール泡
- 特定の消火方法 : 初期消火には化学粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂等を用いる。大規模火災にはアルコール泡消火器などを使用する。棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消化作業の際には、保護具を着用し風上から作業する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置 : 風下の人を退避させる。漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業しない。
- 環境に対する注意事項 : 河川などへ濃厚液の排出は避けること。
- 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・器材 : 少量の場合、漏出液は多量の水を用い、十分に希釈して洗い流す。多量の場合、漏出液は土砂などでその流れを止め、できるだけ回収し、残分はアルカリ液で中和後、多量の水を用い、十分に希釈して洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源を速やかに取り除く。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い :
- 技術的対策 : 屋内作業所での使用時は発生源の密閉化、又は局所排気装置の設置。取り扱い場所の近くに、洗面、洗眼設備などを設置することが好ましい。
- 局所排気・全体排気 : 静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。
- 安全取扱い注意事項 : 異物（酸、アルカリ、重金属、有機物、ごみなど）の混入を避ける。高温物、スパーク、火炎を避け、強酸化物との接触を避ける。液が体に触れないように、保護具を着用して取り扱う。取り扱い後は、手洗い、洗顔を十分に行う。
- 保管 :
- 保管条件（技術的対策、混触禁止物質等） : 本製品には、重合禁止剤が添加されているが、できるだけ製品の長期放置は行わず、速やかに使用することが好ましい。本製品は15℃で凍結するが、充填容器などで保管する場合においても製品の温度を16℃以上30℃以下に保持して1ヶ月以内に使用する。タンク、充填容器及びその保管場所などにはその危険性に関する警戒標識を掲げる。貯蔵施設の直近には緊急消火設備を設ける。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	:	設定されていない
許容濃度		
日本産業衛生学会	:	設定されていない
ACGIH	:	TWA 20 ppm
設備対策	:	屋内作業場での使用時は発生源の密閉化、又は局所排気装置の設置。
保護具		
呼吸器用の保護具	:	有機ガスマスク
手の保護具	:	ゴム手袋
目の保護具	:	保護眼鏡（ゴーグル、保護面）
皮膚及び身体の保護具	:	作業衣、安全帽（ヘルメット）、安全靴／ゴム長靴、ゴム前掛けなど

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状	:	液体
色	:	無色
臭い	:	刺激臭
pH	:	データなし
融点/凝固点	:	15°C
沸点	:	161°C
引火点	:	73°C（タグ密閉式）
爆発範囲	:	下限： 1.6 vol% 上限： 8.8 vol%(文献 No.4)
蒸気圧	:	133.3 Pa（1mmHg）（25.5°C） 1333 Pa（10mmHg）（60.6°C）
蒸気密度	:	データなし
比重	:	1.015（20°C）
溶解度		
溶媒に対する溶解性	:	水に易溶
n-オクタノール／水分配係数	:	Log Pow 0.93（実測値）（文献 No.4）
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
その他のデータ	:	導電率 23.3pS/m（30°C） 屈折率 1.4320（20°C） 粘度 $1.30 \times 10^{-3} \text{ Pa}\cdot\text{s}$ （20°C）

## 10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常（常温以下）の保管条件では安定である。
危険有害反応可能性	:	日光、熱で重合する。また凝固、熔融を繰り返すことにより、重合を起こす可能性がある。 アルカリと中和反応を起こす。

危険有害な分解生成物： 知見無し

## 1 1. 有害性情報

急性毒性：	経口 マウス LD <sub>50</sub> 1600 mg/kg (文献 No.1)
	経皮 ウサギ LD <sub>50</sub> 500 mg/kg (文献 No.1)
皮膚腐食性・刺激性：	液が直接接触すると眼の失明や皮膚腐食の恐れがある。 (文献 No.2)
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	液が直接接触すると眼の失明や皮膚腐食の恐れがある。 (文献 No.2)
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	データなし
生殖細胞変異原性：	大腸菌DNA損傷テスト 50 μmol/kg (文献 No.1)、 エームス試験 陰性(文献 No.3)
発がん性：	データなし
生殖毒性：	妊娠したラット、マウス、ハムスター、ウサギなどに吸入させた 実験では催奇形性は見られず。
特定標的臓器・全身毒性 一単回暴露：	データなし
特定標的臓器・全身毒性 一反復暴露：	吸入ラット 300pmx6hrx20日、軽度の腎臓充血(文献 No.2)
吸引性呼吸器有害性：	データなし

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性：	ニジマス LC <sub>50</sub> 85mg/l(96h) (文献 No.4)
残留性・分解性：	分解性良好
生体蓄積性：	知見なし

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	焼却炉で焼却する。又は、産業廃棄物として専門業者に処理を委託する。
汚染容器・包装	残留物を廃棄し、付着物を水洗除去後、処分する。洗浄廃液は残余廃棄物と同様の処理を行う。

## 1 4. 輸送上の注意

### 国際規制

国連番号： 2531  
品名： メタクリル酸（安定剤入りのもの）  
METHACRYLIC ACID, STABILIZED  
国連分類： クラス 8（腐食性物質）  
容器等級： II  
海洋汚染物質： 該当

### 安全対策：

### 国内規制

陸上輸送： 消防法 第 4 類 第 3 石油類 危険等級 3  
車両標識「危」を車両の前後の見やすい箇所に掲げる。  
車両がタンクローリーである場合は、甲種又は乙種第 4 類の危険物取り扱い資格者を乗車させる。  
道路交通法： 令 19 条の 13、車両の通行制限（別表 2-3）

積載方法： 運搬時の積み重ね高さは、3m以下にする。  
一般貨物として取り扱えるが、運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷が無い様積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

混載禁止： 1) 第 1 類及び第 6 類の危険物  
2) 高圧ガス  
車両などによって運搬する場合は、荷送人は運送人に対し事故時の応急措置を記載した文書を交付する。  
個品輸送の容器及び容器表示は以下の通り。

容器： 危険物の規制に関する規則 別表第 3 の 2 に定められた容器を使用する。

容器表示： 1. 第 3 石油類、危険物等級 3、水溶性、メタクリル酸  
2. 数量  
3. 火気厳禁  
毒物及び劇物取締法 劇物（包装等級 3）

容器： 毒物及び劇物の運搬容器に関する基準—その 3 に定める容器を使用する。

容器表示： 1. 医薬用外  
2. 劇物（白地に赤文字）  
3. （名称）（成分、含有）  
4. 製造者の名称及び住所

船舶輸送： 船舶安全法 個品運送（危険物、腐食性物質）（容器等級 3）

容器： 船舶による危険物の運送基準などを定める告示別表に定める容器を使用する。

容器表示： 上記告示参照

航空輸送： 航空法の運送基準などに従う。

緊急時対応措置指針 153P  
番号：

## 15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法、改正前2009年度分のPRTR届出対象）：

別表第1、第1種指定化学物質、政令番号314（メタクリル酸）

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法、改正後2010年度以降分のPRTR届出対象）

別表第1、第1種指定化学物質、政令番号415（メタクリル酸）

消防法： 危険物第4類、第3石油類(水溶性液体)（指定数量4,000リットル）

危険物データベース登録 4052-007938

労働安全衛生法： 通知対象物 政令番号556

毒物及び劇物取締法： 劇物

船舶安全法： 危規則告示別表第1（腐食性物質）

航空法： 爆発物等告示別表第1（腐食性物質）

海洋汚染防止法： 有害液体物質（D類）

（平成19年1月1日改正施行後）有害液体物質、施行令別表 Y類物質

## 16. その他の情報

引用文献

NO.1 REGISTRY OF TOXIC EFFECTS OF CHEMICAL SUBSTANCES :NIOSH

NO.2 ACGIH TLVs DOCUMENTATION (1980)

NO.3 社内試験データ(MT08-01)

NO.4 通産省基礎産業局化学品安全化監修：化学物質ハザード・データ集 第一法規出版

NO.5 化審法 既存化学物質安全性点検 通産省公報(H.5.12.28 P6)

- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としています。
- ・本製品はこの製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報や当社所有の知見によるものですが、これらのデータや評価はいかなる保証をするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。